

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成27年5月28日(2015.5.28)

【公開番号】特開2014-191313(P2014-191313A)

【公開日】平成26年10月6日(2014.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-055

【出願番号】特願2013-69285(P2013-69285)

【国際特許分類】

G 02 B 5/30 (2006.01)

B 05 D 7/00 (2006.01)

G 02 F 1/13363 (2006.01)

【F I】

G 02 B 5/30

B 05 D 7/00 A

G 02 F 1/13363

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月8日(2015.4.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

可塑剤及び/又は光学特性調整剤を含む帯状の支持体を準備する工程と、

連続走行する前記支持体の上に、前記支持体を溶解または膨潤させる溶媒に樹脂を溶解した第1原料液を塗布する第1塗布工程と、

前記支持体の上に塗布された前記第1原料液を乾燥し、第1の塗膜とする第1乾燥工程と、

前記第1の塗膜に活性放射線を照射し、前記第1の塗膜を硬化し、中間層を形成する第1硬化工程と、を有し、前記中間層の表面の10%以上の領域に、前記可塑剤及び/又は前記光学特性調整剤を存在させ、

前記中間層の上に、棒状の重合性液晶化合物と配向制御剤と配向補助剤とを溶媒に溶解させた第2原料液を塗布する第2塗布工程と、

前記中間層の上に塗布された前記第2原料液を乾燥し、前記配向制御剤と前記配向補助剤の位置を固定し、第2の塗膜を形成する第2乾燥工程と、

前記第2の塗膜の内部温度が前記配向制御剤と前記配向補助剤とを前記第2の塗膜の表面に移動させる温度となるように、前記第2の塗膜を25秒以上加熱する熱処理工程と、

前記熱処理工程後、前記第2の塗膜の内部温度を前記配向制御剤と前記配向補助剤の位置を固定する温度になるよう冷却する冷却工程と、

前記冷却工程後、3%未満の残留溶媒比率の前記第2の塗膜に活性放射線を照射し、前記第2の塗膜を硬化し、光学異方性層を形成する第2硬化工程と、

を含む位相差フィルムの製造方法。